

まちかどニュース

身近なイベントや、街角の話題を皆さんから募集しています。

思い思いの願いを込めて

竹丘南自治会・同自治会子ども会が七夕まつりを開催

6月30日、竹丘南自治会・同自治会子ども会による、毎年恒例の七夕まつりが竹丘集会所の広場で開催されました。

当日は天候にも恵まれ、用意された2本の竹には「サッカー選手になりたい」など、思い思いの願いを込めた短冊が飾り付けられ、参加した子ども達は大喜びでした。



七夕まつりの様子

環境について 来て・見て・学んで

「2018きよせの環境・川まつり」今年も大盛況

7月21日、台田運動公園（柳瀬川流域）を会場に、今年も「2018きよせの環境・川まつり」が開催されました。

ウォーターバルーンのアトラクションの他、環境について学べる各ブースでは、スタンプラリーを楽しみながら熱心に話を聞く子どもなどで盛り上がりました。



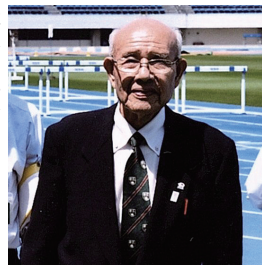
スタンプを集めて景品をゲット！

目指すは2度目の東京オリンピック競技審判員

市内の石田さんが日本陸上競技連盟公認審判員S級に

市内在住の石田汎さんが、4月1日付で日本陸上競技連盟公認審判員S級となり、同日精励章を受章されました。日本陸上競技連盟の公認審判員S級になるには、永年にわたる審判活動や熟練した審判技術が必要となり、市内ではただ1人の資格保有者とのことです。

石田さんは前回の東京オリンピック競技大会（昭和39年）で、当時所属していた陸上自衛隊の陸上競技支援隊員



として競歩とマラソンの記録の審判を行っており、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会でもできることをお手伝いしたい」と語られました。

昭和39年の東京オリンピックで審判を務めたときの様子（右から2番目が石田さん）

がんばりすど

各種大会で優秀な成績を収めた方・団体を紹介します。

「第7回関東少年少女空手道選手権大会」で四小在学の難波さんが3位入賞

7月1日、墨田区総合体育館（墨田区錦糸四丁目）で開催された「第7回関東少年少女空手道選手権大会」で、四小在学の難波由帆さんが「形（小学2年・女子の部）」で東京都代表として出場し、3位に入賞しました。おめでとうございます。難波さんは、清瀬しらうめ幼稚園空手道教室（拳正塾）で練習に励んでおり、今後の活躍が期待されます。



3本の木とともに

先日の日曜日また、セミが突然私の右胸に直線的に飛び込んできてしっかりととまりました。えっと思いき、セミの顔を見たら、セミもオレンジ色の瞳でじつと私を見つめました。「おいおい、逃げないの？」何か不思議だなと思いき、「ありがと」と声を掛けました。その後、体を動かしたら、すぐ傍の木に飛び上りました。

あつ、そうか！ 故星野前市長のメッセージか。実はセミとの出会いの前約2時間、園長をしていた幼稚園のホールで『清瀬讃歌』の練習に集中したのです。

何故練習したかという点、青少年問題協議会第2地区委員会の10月の「青少年の集い」で、特別支援学校



の生徒達と一緒に演奏してくださいと関係者に依頼され、「ふるさと」の他にもう1曲ということで「じゃあ、『清瀬讃歌』に挑戦するか」と1月に約束したのです。

そして7月、生徒達から手紙がきました。『渋谷金太郎さんへ 本番で一緒に演奏させていたかくことを楽しみにしています。』『しちようさんへ しちようさんのピアノのしみにしています。』『さだやきんたろうさんへ すきだよ清瀬を毎日練習しています』等々です。手紙を読みこれはしっかりと練習しなければと気が合が入り、練習したのです。

実は『清瀬讃歌』は平成9年、星野前市長が当時の日本社会事業大学の京極高宣学長の協力を得て、市の幹部職員が製作費用を負担して作られたのです。だから、作詞は日本作詩大賞などを受賞されている「星野哲郎」氏、作曲はNHKの大河ドラマ

清瀬市長

渋谷金太郎

マのテーマ曲や尾高實などを受賞されている「池辺晋一郎」氏です。超一流の作詞作曲です。

①むさしのの おもかげのこすあ かまつの もりをおるけばひとのよの にごりもきてやさしさが このみをつつむ えのまじじようのまち すきだよ きよせえのまち じようのまち すきだよきよせ

②じんせいを このよにささげいてゆくひとのつよきさよやみをやくひのはなまつりほらかなねがいがこもるじのまじあいのまち すきだよきよせじのまち あいのまち すきだよきよせ

よせ③④番割愛）

職員の話では星野前市長は亡くなる前にも、『清瀬讃歌』を聞いていたそうです。やっぱり、セミかな？

平成30年度第2回全国瞬時警報システム（Jアラート）の全国一斉情報伝達訓練を実施

全国瞬時警報システム（Jアラート）は、大規模な災害が想定される場合に国からの緊急情報を伝達するシステムです。今回、国から緊急情報が発信されたことを想定し、Jアラートと連動している防災行政無線が正常に自動起動するかを確認する訓練を全国一斉に行います。

この訓練では市内全域の防災行政無線を起動し、試験放送を行いますので、ご了承ください。

実施日時 8月29日（水）午前11時

試験放送の内容

（上りチャイム音）「これはJアラートのテストです（3回繰り返し）。こちらは防災清瀬です。」（下りチャイム音）

問合せ 防災防犯課防災係 ☎042・497・1847



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ボランティア募集要項が公表

6月11日、（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会及び東京都が、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたボランティア募集要項を公表しました。東京2020大会でボランティアとして活躍してみたい方は、ぜひご覧ください。

◆「（公財）東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」📄 <https://tokyo2020.org/jp/>（下記QRコード①）

◆「東京都オリンピック・パラリンピック準備局」📄 <http://www.2020games.metro.tokyo.jp/>（下記QRコード②）

◆「東京ボランティアナビ」📄 <http://www.city-volunteer.metro.tokyo.jp>（下記QRコード③）

大会情報 名称：東京オリンピック・パラリンピック競技大会、開催日程：オリンピック競技大会＝2020年7月24日（金）～8月9日（日）、パラリンピック競技大会＝2020年8月25日（火）～9月6日（日）

※「大会ボランティア」と「都市ボランティア」の募集は、平成30年（2018年）9月から大会組織委員会・東京都がそれぞれ開始する予定です。詳しくは各ホームページをご覧ください。

	大会ボランティア	都市ボランティア
募集運営	組織委員会	東京都
活動場所	競技大会、選手村などの大会関係施設	空港・主要駅・観光地・競技会場の最寄り駅周辺及びライブサイト
活動内容	観客サービス、競技運営サポート、メディアのサポートなど	国内外からの旅行者に対する観光・交通案内、競技大会までの観客の案内及びライブサイト運営のサポート
募集人数	8万人	3万人



各組織ホームページQRコード



各組織ホームページQRコード



各組織ホームページQRコード

※今回の俳句は「第9回石田波郷俳句大会ジュニアの部」から。学年は大会時。

夏草は土のかみの毛ボウボウだ
（評）俳聖松尾芭蕉は「夏草や兵どもの夢のあと」として夏草の盛んな様に逆に人生の哀れを感じましたが、やはり小学生はストレート。あの生い茂る情景を生やしっぱなしの髪の毛にたとえてくれた思いきりの良さに、大いに共感。思いきりの良い表現は俳句本来の持ち味です。

のき下のすを出られないつばめの子
（評）燕は春の季語で、南からやって来る季節感が好まれます。ただ、産卵した親燕が軒下の巣で子燕を育て、六月頃になればその子燕が飛翔の練習をするので、子燕のほうは夏の季語。この句は、飛翔を怖がっている子燕に小学四年生の自分の気持ちを寄せました。

夜色のゆかたの帯は天の川
（評）「天の川」も秋の季語ですが、ここでは帯を夜空に流れる天の川に見立てた形ですので、この句の季語は「ゆかた」ということになります。紺や藍のゆかたの色を夜色という表現にしたのはさすがに六年生で、美しくロマンティックな一句になりました。

清瀬 こども俳句

小・中学生の俳句を紹介するコーナー。ぜひ応募ください。
選評 石田波郷俳句大会実行委員会

六小四年 吉田慎